

第70回 正丸からツツジ山(標高831m)ハイキング

第10支部 (有)大河原商店

大河原 敏生

平成26年12月23日快晴

年の瀬のあわただしい中、家の方付けもせずに恒例のハイキング同好会の忘年ハイキングに参加してきました。といっても私は今回で2回目の参加です。行いがいいのか今回も好天に恵まれ車窓には富士山がくっきり見えました。タイトルの70回すごい回数にその積み重ねた年月をおもいました。それも1度もけが人を出していないという素晴らしい記録も更新中だそうです。

参加者は、幹事の磯部さん、石井総務委員長 乾さん 若林さん 原さんの奥さま 大井さんと私で7名の参加で西武池袋線正丸駅をスタートしました。

今回コースが変更になっています。幹事の磯部さんが前もって下見に来て、登りの大変きついコースで脱落者(初心者の私?)を出さないようにとの配慮だそうです。

国道をしばらく行き、緩やかな登りの舗装道の林道を歩くこと1時間 高麗川の原流の碑がある小川で小休止。

最後尾を大井さんのサポートで、黙々と歩いていると枯れた木々の間に「寒桜の花」との指摘。下を向いて歩いていたことに気づき大した登りでもないのに体力のなさを痛感しました。

乾さん曰く、「登りは心肺力が必要で、下りは、脚力・体力」だそうです。私は、逆だとおもっていましたがこれから先の急な下りへのアドバイスをいただきました。

木々の切れたあたりでの素晴らしい景色、ここが都心から1時間半で来られる所とは思えません。遠くには、秩父の山々がよく見えました。遠景には、筑波山から日光連山や、妙義山などがきれいに見えました(刈場坂峠)。

ここで宴会?と思えるほど色々な差し入れがありました。ただ忘年会には、食べきれないほどたくさん出るので昼食は食べ過ぎないようにとアドバイス。

写真の見た目よりかなりきつい下り坂です。下りにコース変更して正解です。また、コース自体も分かりにくくて磯部さんの先導で進みました。幹事さん様々です。

途中、コースわきに動物の糞を発見 おそらく熊?と脅かされ、緊張してゆっくり下ります。

森山さん、原さんのご主人、大根田さんを加えて飯能の次郎長鮪にて忘年会。来年も皆さんと健康で楽しいハイキングの機会を持てたらと思っています。

年初めは1月25日の高尾山の護摩焚きです。もちろん歩いて登るつもりです。